

## 第5章 地域別緑のプラン



## 第5章 地域別緑のプラン

### ■「地域別緑のプラン」について

「笛吹市緑の基本計画」では、次の考え方に基づき、地域別に緑の保全および創出と育成に向けた施策の方針を示します。

- 笛吹市全体の緑の保全・創造・育成計画の考え方を、地域の特性を踏まえたキメの細やかな身近なプランとして展開します。

- 地域住民の意向を反映した、わかりやすい地域の緑の将来像や方向性を示します。

(笛吹市みどりのまちづくり市民会議の提案、笛吹市景観計画アンケート調査などの反映)

地域区分にあたっては、旧町村の合併経緯や地形・地域のまとまりなどを考慮した「笛吹市都市計画マスタープラン地域別まちづくり方針」に則し、右の4つの地域に区分しています。

また、地域別緑のプランは、4つの地域ごとに右に示す構成で整理しています。

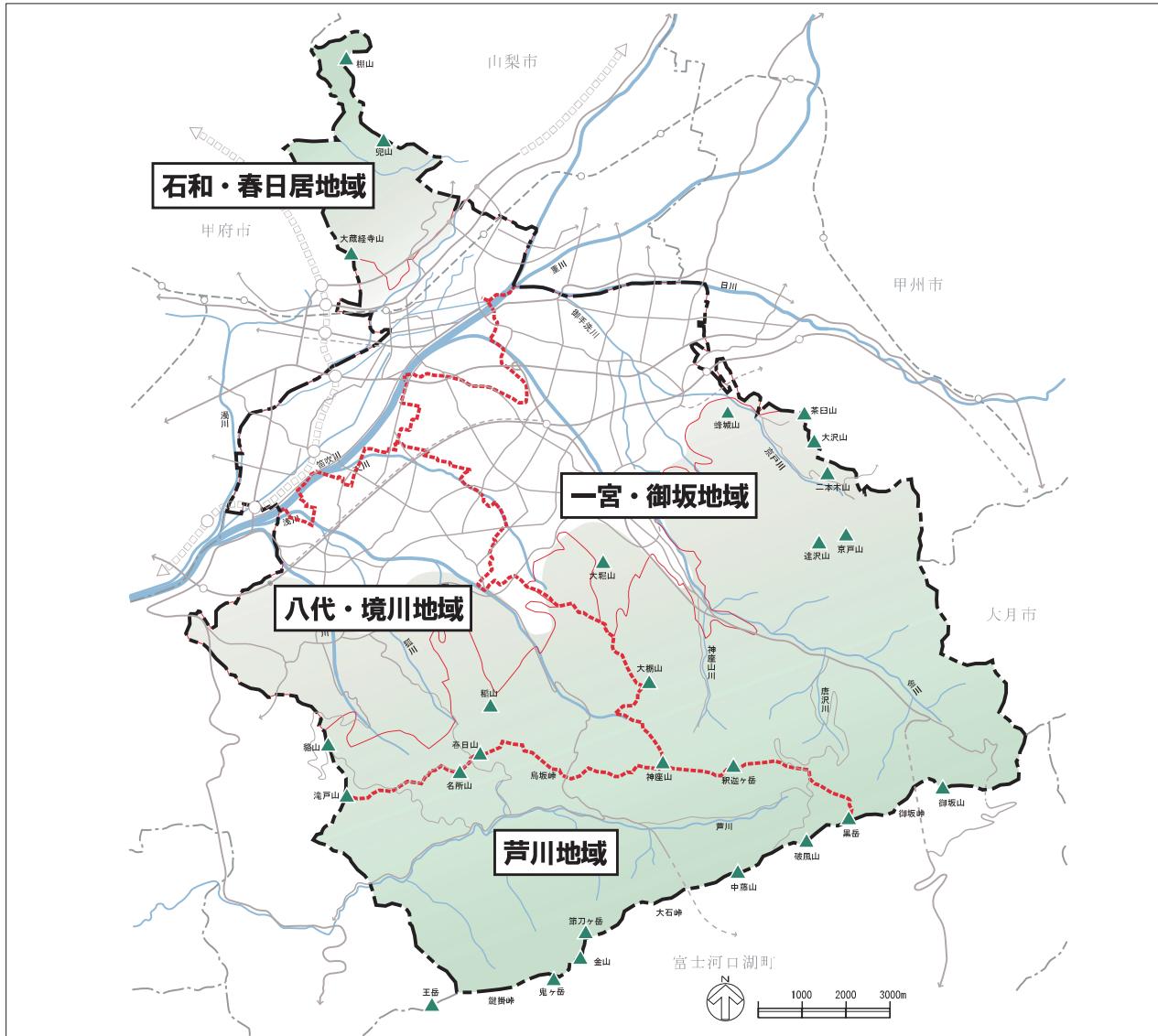
#### ■地域区分

- 石和・春日居地域**
- 一宮・御坂地域**
- 八代・境川地域**
- 芦川地域**

#### ■地域別緑のプランの構成

- 緑の特性と課題
- 緑のまちづくりに向けて
  - 緑の将来目標
  - 主な取り組み方針
  - ・地域別緑のプラン図

#### ■地域区分図



## 5-1 石和・春日居地域

### (1) 緑の特性と課題

●面積：2,869km<sup>2</sup> 人口：34,343人（平成22年4月現在）

#### 地域概要と緑の特性

- ・地域は、笛吹川と、その低地に広がる石和・春日居市街地、市街地を取り囲む樹園集落地、北部の大蔵経寺山・兜山等の山地で構成されています。
- ・甲斐国を中心地、秩父往還の宿場町として古くから栄え、山梨岡神社等の多くの歴史資源があります。
- ・JR石和温泉駅周辺は、石和・春日居温泉郷が立地し、幹線道路の集中と沿道商業施設の集積など、本市の中心市街地を形成しています。郊外に広がる果樹園地域は、農地転用による市街化が進行しています。
- ・石和小林公園、石和温泉駅前公園、近津ふれあい公園の都市計画公園が3ヶ所、県立森林公園金川の森の一部が含まれ、石和平等川河川公園等のその他の緑地・広場が分布しています。
- ・主な緑の資源としては、森林文化の森である兜山の森、歴史景観保全地区に指定される山梨岡神社周辺、大蔵経寺山、笛吹川や平等川、笛吹川サイクリングロード、さくら温泉通り、寺本廃寺跡・八田家書院・八田御朱印公園等の歴史・文化資源、フルーツラインからの眺望景観などがあげられます。
- ・市街地後背に接する大蔵経寺山・兜山周辺の豊かな森林、シンボル的な笛吹川の水辺空間、桃などの果樹畠に点在する歴史・文化資源などの趣きある風景が、本地区の特徴的な緑の景観を形成しています。

#### ■緑に関わる主な地域住民意向

- ・大切にしたいのは、果樹畠の農村集落風景、笛吹川等の清流と水辺の風景、優れた眺望景観など
- ・今後の景観づくりでは、豊かな清流・水辺の景観の保全、都市の玄関口となる駅や駅前広場の景観形成、樹園・農地の景観の保全などが重要

#### 課題

○本市のシンボル的な笛吹川と平等川、渋川、近津用水などの水辺環境を保全するとともに、市街地の潤いある水辺空間としての活用が望まれます。

○大蔵経寺山や兜山などの市街地後背の貴重な森林環境を守ることが必要です。

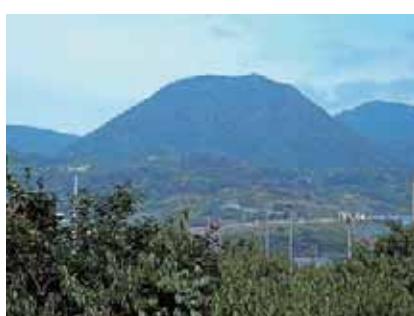
○山梨岡神社等の潜在的な歴史・文化資源、市街地ややまなみの眺望という景観資源などを、観光や活性化に寄与する緑の資源として活用することが望されます。

○宅地化が進行する市街地周辺の果樹園などの農の緑を守り、桃源郷の景観を維持することが必要です。

○既存公園の有効活用と身近な広場・緑地の機能充実、市街地の緑のスポットを増やすことが必要です。



・石和小林公園



・春日居町駅からの兜山の眺望



・さくら温泉通り



・大蔵経寺山



・笛吹川サイクリングロード沿いのコスモス



・山梨岡神社

## (2) 石和・春日居地域の緑のまちづくりに向けて

### 緑の将来目標

**温泉郷の交流とおもてなしの緑を育み、笛吹川の水辺空間と調和した潤いある緑のまちを創出します**

### 主な取り組み方針

#### ①笛吹川などのシンボル的な水辺環境の維持・向上と水と緑が調和する風景を創出します

- 笛吹川、平等川、渋川、近津用水等の河川や水路は、水質向上や生態系への配慮、地域景観と調和した緑化や維持管理の推進、不法投棄対策の強化など、美しい水環境の維持・向上を図ります。
- 水の都のシンボル的な空間として、笛吹川、近津用水沿いの桜並木や渋川沿いのビオトープ等を積極的に活用するとともに、河川や水路については水と緑にふれあえる親水空間づくりを進めます。

#### ②大藏経寺山・兜山などの市街地後背の豊かな森林を守り・育成します

- 大藏経寺山や兜山は、市街地に近接する景観上重要な樹林であり、緑地保全地域制度などの活用により保全に努めます。また、神体山であり鎮守の森を有する御室山は歴史的景観資源として保全を図ります。
- 兜山の森林文化の森の指定継続に向けた維持保全を図るとともに、身近に緑にふれあえる（仮称）ふれあいの森の検討を進めます。

#### ③彩りある中心市街地の創出と、おもてなしと交流を高める緑を育成します

- まちの顔となる石和温泉駅・春日居町駅や中心市街地は、バラの植栽や菊づくりの取り組みなどこれまでの市民の緑化活動を促進し、笛吹市らしい樹園風景と調和した緑豊かなまちなみを創出します。
- 笛吹市役所・春日居支所周辺、駅周辺、石和・春日居温泉郷周辺を緑化推進地区に位置づけ、積極的な緑化を進めます。
- 温泉郷と果実郷を演出する緑の観光活用を図るため、四季を楽しむ個性ある緑化やオープンガーデンによる緑の交流振興、また、水辺と桜並木、温泉街と足湯、観光農園、果樹園、ワイナリーなど魅力スポットを巡り散策するまちなみのフットパスづくりを進め、おもてなしと交流を高める緑を育成します。

#### ④市街地周辺の優良農地や身近な緑の保全を図ります

- 農業振興と桃源郷の風景を維持するため、優良農地の計画的な保全と積極的な振興施策を図るとともに、遊休農地の活用を促進します。
- 市街地周辺の集落地の里山や雑木林、社寺林、屋敷林、水路等の身近な緑の保全と育成に努めます。

#### ⑤歴史・文化資源や眺望景観など潜在的な緑の資源をまちづくりへ活用します

- 山梨岡神社周辺は歴史景観保全地区の指定継続と鎮守の森の維持保全に努めます。
- 寺本廃寺跡や大藏経寺周辺等の古代甲斐の国の歴史・文化資源と、地域北部の山麓や丘陵地、河川、幹線道路や鉄道からの良好な眺望景観は、潜在的な緑の資源として顕在化を図り、公園利用や地域を特徴づけるスポットづくりなど、積極的に緑のまちづくりへ活用します。

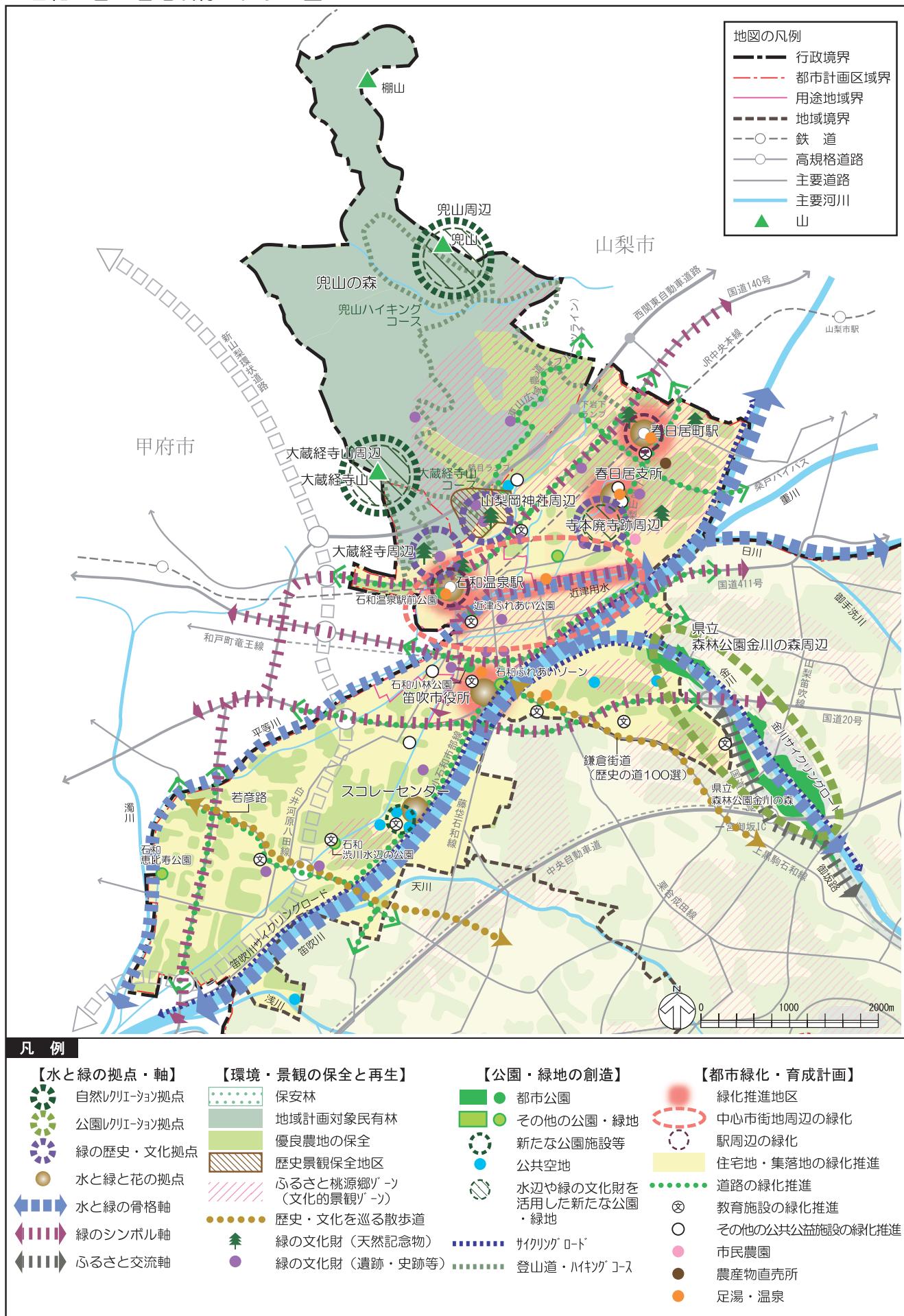
#### ⑥既設公園の機能充実・利用促進と新たな緑の拠点づくりを進めます

- 既設の石和小林公園等の都市公園や身近なその他の公園、広場・緑地等は、機能の充実と維持管理を促進するとともに、地域住民との協働による魅力向上と有効利用を図ります。
- スコレーセンター周辺の清流公園等の機能充実を検討します。
- 観光レクリエーション拠点の機能充実を図るとともに、市街地後背の大藏経寺山・兜山周辺の森林の活用、笛吹川の水辺を活用した潤いある緑地空間の形成、寺本廃寺跡周辺の歴史・文化を伝承する史跡公園づくりなど、良好な地域資源を活かした新たな緑の拠点づくりを進めます。

#### ⑦四季の彩りを感じる水と緑が融合したネットワークを形成します

- 笛吹川サイクリングロードや大藏経寺山・兜山のハイキングルート・登山道の充実を図ります。
- 温泉や観光資源、秩父往還等の歴史・文化資源、里山や果樹集落の風景、笛吹川等の水辺空間や桜並木などを活用し、サインや休憩スポットの整備、修景、緑化等を図り、桃源郷や地域資源を巡るふるさとの散歩道づくりを進め、四季の彩りある水と緑が融合したネットワークを形成します。

## ■石和・春日居地域縁のプラン図



## 5-2 一宮・御坂地域

### (1) 緑の特性と課題

●面積：8,899km<sup>2</sup> 人口：23,249人（平成22年4月現在）

#### 地域概要と緑の特性

- ・地域は、金川、日川、扇状地や平坦地に広がる樹園集落地、東南部の御坂山系の山地・丘陵地で構成されています。
- ・縄文時代には山梨県を代表する大集落の形成、奈良時代には甲斐国を中心地、江戸時代には鎌倉街道（御坂路）が重要な交易路となり、釈迦堂遺跡や甲斐国分寺跡などの数多くの歴史資源がみられます。
- ・桃源郷と称される美しい風景・眺望景観をもつ地域ですが、近年、主要な幹線道路周辺等においては、農地転用による市街化が進んでいます。
- ・都市緑地である県立森林公園金川の森、一宮花見台公園、一宮金沢憩いの森公園、御坂路さくら公園、みさか桃源郷公園等の主要な公園、花鳥の里スポーツ広場等の緑地・広場が分布しています。
- ・主な緑の資源としては、御坂山地の保安林、県立森林公園金川の森の樹林地、金川サイクリングロード、金川・御手洗川・日川等の河川や渓谷、甲斐国分寺跡・国分尼寺跡、甲斐一宮浅間神社、慈眼寺、鎌倉街道等の歴史・文化資源、釈迦堂遺跡博物館からの眺望景観などがあげられます。
- ・地域東南部の御坂山地の自然環境、扇状地に広がる果樹園や農村風景、美しい眺望景観や歴史文化資源が相まった桃源郷の特徴的な緑の景観を形成しています。

#### ■緑に関わる主な地域住民意向

- ・大切にしたいのは、果樹畠の農村集落風景、優れた眺望景観、市民の憩いの公園・広場の風景など
- ・今後の景観づくりでは、樹園・農地の景観の保全、豊かな清流・水辺の景観の保全、遊休農地・耕作放棄地などを活用した風景づくりなどが重要

#### 課題

- 優良農地の計画的な保全を図り、郷土が誇る桃源郷の風景を維持・保全することが必要です。
- 甲斐国千年の歴史を物語る歴史・文化資源を顕在化し、緑のまちづくりに活用することが望されます。
- 釈迦堂遺跡博物館やみさか桃源郷公園、花鳥山一本杉等からの良好な眺望景観、公園や観光施設等のレクリエーション資源については、桃源郷を体感できる効果的な活用が望されます。
- 市街地後背の貴重な樹林や御坂山系につらなる良好な森林、潤いある水辺環境を守ることが必要です。
- 県立森林公園金川の森等の既存公園の拡充と利用促進を図るとともに、これまでの市民・企業協働による活動を促進し、多くの地域資源を活かす緑の拠点を育成することが必要です。



・一宮・御坂の桃の樹園地



・一宮花見台公園周辺



・甲斐一宮浅間神社



・御坂路さくら公園



・甲斐国分寺跡



・釈迦堂遺跡博物館

## (2) 一宮・御坂地域の緑のまちづくりに向けて

### 緑の将来目標

**果樹の郷と甲斐国千年の歴史が融合する、桃源郷の緑の風景を守り、育てます**

#### 主な取り組み方針

##### ①桃源郷を象徴する優良農地の保全と遊休農地の有効利用を図ります

- 桃源郷を象徴する風景を守るため、優良農地の計画的な保全、地域農業の活性化と併せた農地の再活用に努め、積極的な農業振興施策を推進します。
- 遊休農地については、グリーンツーリズムや観光農園・体験農園などの市民利用、観光利用の促進、ボランティアによる花の植栽等の景観緑地への転用などにより桃源郷の風景の維持を促進します。

##### ②甲斐国千年の歴史・文化資源を活かす緑のまちづくりを進めます

- 甲斐国分寺跡・国分尼寺跡周辺や鎌倉街道等の歴史的景観資源、甲斐一宮浅間神社、慈眼寺、釈迦堂遺跡等の史跡・文化財は、甲斐国の歴史を物語る貴重な財産として維持・保全に努め、公園利用や地域を特徴づける景観スポットの形成など、緑のまちづくりへの積極的な活用を図ります。
- 樹園と里山が調和した桃源郷の風景は、郷土の特徴的な文化的景観としての保全・活用を検討します。
- 神体山であり鎮守の森を有する蜂城山は歴史的景観資源として保全を図ります。

##### ③良好な眺望景観や多様な地域資源が調和する桃源郷の風景を守り・活かします

- 樹園地や里山の景観、釈迦堂遺跡、花鳥山一本杉、花見台、また、御坂路や金川曾根広域農道等からの良好な眺望景観は、桃源郷を形成する一体的な風景として保全を図るとともに、郷づくりへの活用を推進します。
- 桃源郷の魅力を効果的に活かすため、樹園地やみさか桃源郷公園周辺、御坂路さくら公園周辺等のレクリエーション拠点、緑の歴史・文化拠点、体験農園やワイナリー等の観光資源などを巡るフットパスづくりを進めます。そのルートについては、特色ある緑化やサイン整備を推進し、おもてなしと交流を高める緑の風景を創出します。

##### ④樹園地を縁どる豊かな森林と里山、潤いある水辺環境の維持・保全と活用を図ります

- 御坂山地から丘陵地につらなる豊かな森林は、森林整備協定の継続と適正な維持管理を推進します。また、貴重な動植物の生息環境の保全と美しい山岳景観の維持・保全に努めます。
- 景観および環境保全上重要な緑となっている山麓後背の里山や森林は、「緑地保全地域」による指定の検討と、森林レクリエーションの場として活用を推進します。
- 笛吹川、金川、御手洗川等の河川や水路は、水質の向上や適切な緑の推進管理など美しい水辺環境の維持・向上を図るとともに、水と緑にふれあえる親水空間づくりを進めます。

##### ⑤既設公園の魅力を高め、地域の特色を活かした緑の拠点づくりを進めます

- 県立森林公園金川の森やみさか桃源郷公園などの公園・広場・緑地等は、機能の充実と維持管理を促進し、協働による魅力向上と有効利用を図ります。
- 県立博物館周辺に、市民の交流と多目的利用に資する新たな公園施設、御坂地区に緑豊かな身近な憩いの場となる新たな公園施設等の整備を検討します。
- レクリエーション拠点の機能充実を図るとともに、甲斐国分寺跡・国分尼寺跡周辺の文化財を活用した歴史・文化を継承する史跡公園など、良好な地域資源を活かした新たな緑の拠点づくりを進めます。

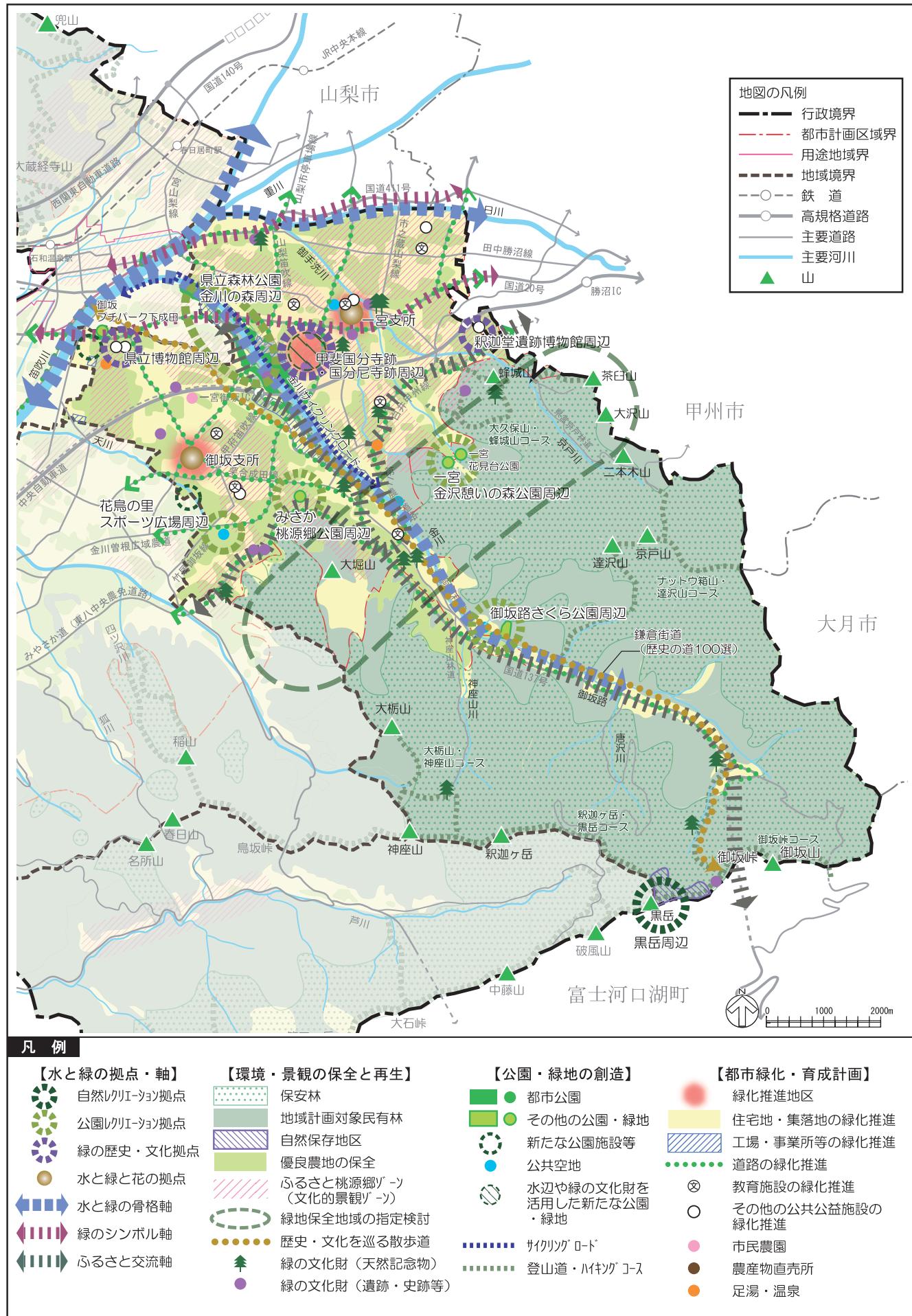
##### ⑥身近な暮らしの緑を育み、四季の彩りある緑化を推進します

- 樹園集落地や里山、雑木林、社寺林、屋敷林、水路等の身近な緑の保全と育成に努めます。
- 一宮支所、御坂支所周辺、甲斐国分寺跡・国分尼寺跡周辺を緑化推進地区に位置づけ、地域住民と協働により四季折々に風景を楽しむ積極的な緑化を進めます。

##### ⑦桃源郷の風景を楽しむ水と緑のネットワークを形成します

- 里山や樹園集落地、甲斐国の歴史・文化拠点、釈迦堂遺跡博物館等の観光資源、鎌倉街道や金川サイクリングロード、ハイキングルート・登山道等を活用し、緑地整備、サインや休憩スポットの充実、水辺空間や道路空間の緑化、アクセス性の向上などを推進します。これにより歴史・文化や桃源郷の風景を回遊する（仮称）ふるさと歴史の散歩道の形成など、水と緑のネットワークを形成します。

## ■一宮・御坂地域緑のプラン図



## 5-3 八代・境川地域

### (1) 緑の特性と課題

●面積：4,709km<sup>2</sup> 人口：13,104人（平成22年4月現在）

#### 地域概要と緑の特性

- ・地域は、浅川や境川などの河川、扇状地から丘陵地に広がる樹園地と集落地、南部の御坂山系の山地・丘陵地で構成されています。
- ・縄文時代には集落が形成され、奈良・平安時代には甲斐国を中心として栄え、盃塚古墳、岡・銚子塚古墳や竜塚古墳等の古墳群、智光寺や聖応寺、若彦路の古道などの歴史資源がみられます。
- ・扇状地から丘陵地にかけて広がる果樹園や里山の中に集落地が点在していますが、近年、主要な幹線道路周辺や八代地区の中心部周辺、境川地区石橋周辺では、農地転用などによる市街化が進んでいます。
- ・八代ふれあい運動広場、八代ふれあい健康広場、八代ふれあい館等の都市公園、八代ふるさと公園、藤笠の滝（大窪癒しの杜公園）等の主要な公園、八代中央スポーツ広場等の緑地・広場が分布しています。
- ・主な緑の資源としては、御坂山地の保安林、森林文化の森の稻山ケヤキの森、やまなしの森林百選に指定される滝戸山山頂付近、藤笠の滝のミズバショウ、八代地区のほたるの里、四ツ沢川等の河川・沢の清流、また、岡・銚子塚古墳等の古墳群や古道である若彦路等の歴史・文化資源、坊ヶ峯からの眺望景観などがあげられます。
- ・地域南部の御坂山地と坊ヶ峯の自然環境、ホタル等の生息する清流、若彦路に沿った奈良原の集落地など、果樹園・里山・集落の風景が相まった特徴的な緑の景観を形成しています。

#### 緑に関わる主な地域住民意向

- ・大切にしたいのは、果樹畠の農村集落風景、市民の憩いの公園・広場の風景、優れた眺望景観など
- ・今後の景観づくりでは、遊休農地・耕作放棄地などを活用した風景づくり、豊かな清流・水辺の景観の保全、特色ある動植物の生息環境の保全などが重要

#### 課題

- 稻山ケヤキの森等の市街地後背の貴重な樹林や四ツ沢川等の清流など、御坂山系につらなる良好な森林と河川・沢・水路等の水辺環境を守ることが必要です。
- ホタル等の貴重な生き物の生息環境や植生を守り、風土の自然環境との共生を図ることが必要です。
- 優良農地の計画的な保全を図り、果実の郷にふさわしい風景を維持・保全することが必要です。
- 古墳群や眺望景観、奈良原等の里山集落などの地域資源を郷づくりに活かすことが望されます。
- 既存公園の拡充と利用促進を図り、ほたるの里づくりなどこれまでの住民活動との協働により、地域文化や豊かな自然を活かす緑の拠点を育成することが必要です。



・稻山ケヤキの森



・八代ふるさと公園周辺の樹園地



・坊ヶ峯と南アルプス



・八代四ツ沢川砂防公園



・藤笠の滝



・盃塚古墳と甲州蚕影桜

## (2) 八代・境川地域の緑のまちづくりに向けて

### 緑の将来目標

**清流とホタルが舞う環境を守り、  
自然とのふれあいを高める緑の郷づくりを進めます**

### 主な取り組み方針

#### ①御坂山系につらなる豊かな森林と里山、清流の水辺環境を守ります

- 滝戸山付近のミズナラ林や坊ヶ峯周辺の里山など、御坂山系から丘陵地につらなる豊かな森林の保全と適正な維持管理を推進し、美しい山岳景観・里山景観の維持・保全に努めます。
- 稻山ケヤキの森は森林文化の森の指定継続を図り、四ツ沢川周辺に身近に緑にふれあえる（仮称）ふれあいの森の検討を進めます。また、景観および環境保全上重要な緑となっている山麓後背の里山や森林は、「緑地保全地域」の指定を検討するとともに、森林レクリエーションの場として活用を推進します。
- 浅川、境川、四ツ沢川等の河川や水路は、水質の向上や緑化など美しい水辺環境の維持・向上を図るとともに、水と緑にふれあえる親水空間づくりを進めます。

#### ②生態系の保全と郷土の環境を学び、自然とふれあう緑の環境教育を進めます

- 四ツ沢川周辺のホタルの生息や藤壺の滝のミズバショウなど、貴重な動植物の生息環境の維持・保全に努め、地域の貴重な財産として、風土が育んだ自然生態系との共生を図ります。
- 稻山ケヤキの森の野外学習や、四ツ沢川、八代地区のほたるの里づくりを促進するとともに、郷土の良好なフィールドを活用し、森林・里山体験や環境学習、エコツーリズム、グリーンツーリズムの推進など、交流を育む緑の環境学習を促進します。

#### ③果樹の郷の風景を誇る優良農地の保全を図ります

- 桃源郷を象徴する風景を守るために、優良農地の計画的な保全と地域農業の活性化と併せた農地の再活用に努め、積極的な農業振興施策を推進します。
- 遊休農地については、グリーンツーリズムや観光農園・体験農園などの市民利用、観光利用の促進、お花畠等への景観緑地への転用などにより桃源郷の風景の維持に努めます。

#### ④桃源郷の眺望景観と地域資源を活かし、自然と文化に親しむ風景づくりを進めます

- 樹園と里山が調和した桃源郷の風景は、郷土の特徴的な文化的景観としての保全・活用を検討します。
- 樹園地や里山の景観、坊ヶ峯、八代ふるさと公園、金川曾根広域農道等からの良好な眺望景観は、桃源郷を形成する一體的な風景として保全を図ります。また、良好な眺望地点、レクリエーション拠点、ほたるの里、若彦路の旧街道や竹居・奈良原等の集落地、歴史・文化資源、体験農園等の観光資源など、地域の魅力スポットを巡るフットパスづくりを進め、豊かな自然環境や地域文化に親しむ風景づくりを推進します。

#### ⑤既設公園の魅力を高め、良好な環境を活用した特色ある緑の拠点づくりを進めます

- 既設の八代ふれあい運動広場等の都市公園や八代ふるさと公園等の公園・広場・緑地等は、機能の充実と維持管理を促進するとともに、協働による魅力向上と有効利用を図ります。
- 境川地区に地域交流広場・公園、八代地区に緑豊かな身近な憩いの場となる新たな公園施設等の整備を検討します。
- レクリエーション拠点の機能充実を図るとともに、藤壺の滝の水辺や坊ヶ峯周辺の良好な眺望等が複合した地域文化を継承する複合型文化交流公園、四ツ沢川や稻山ケヤキの森、八代ふるさと公園周辺が連携したほたるの里づくりなど、良好な地域資源を活かした新たな緑の拠点づくりを進めます。

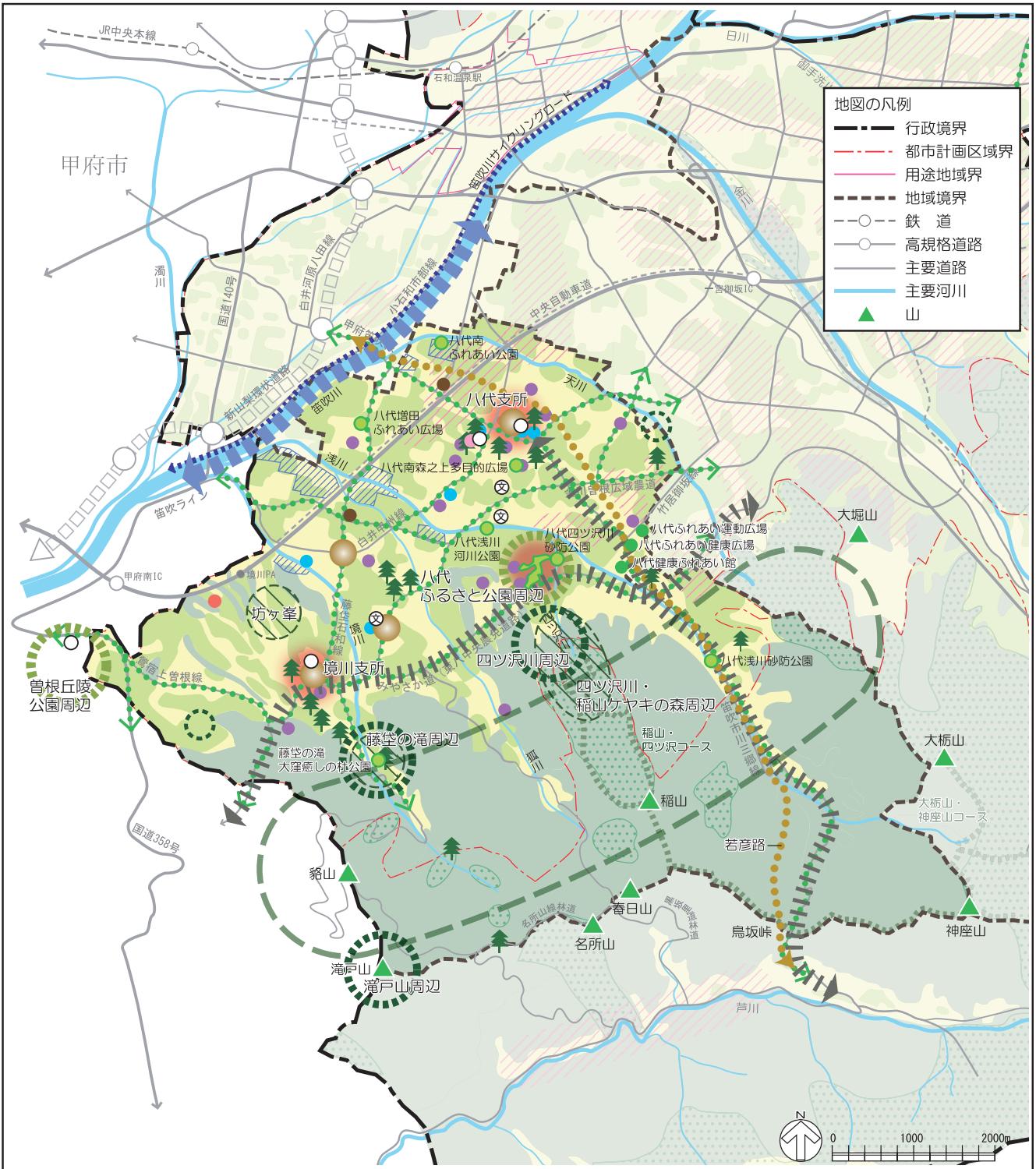
#### ⑥身近な暮らしの緑を育み、地域住民と協働による緑化を推進します

- 樹園集落地や里山、雑木林、社寺林、屋敷林、水路等の身近な緑の保全と育成に努めます。
- 八代支所、境川支所周辺、八代ふるさと公園周辺を緑化推進地区に位置づけ、地域住民と協働により樹園地や豊かな自然環境と調和した積極的な緑化を進めます。

#### ⑦里山の樹林と清流に親しむ水と緑のネットワークを形成します

- 果樹集落地や歴史・文化拠点、レクリエーション拠点、若彦路やハイキングルート・登山道等を活用し、緑地整備、サインや休憩スポットの充実、水辺空間や道路空間の緑化、アクセス性の向上などを推進し、ほたるの里や森林・里山、桃源郷の風景を回遊するふるさとの散歩道の形成など、水と緑のネットワークを形成します。

## ■八代・境川地域緑のプラン図

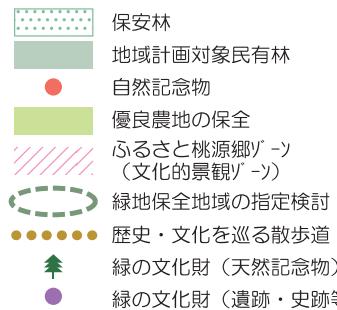


## 凡 例

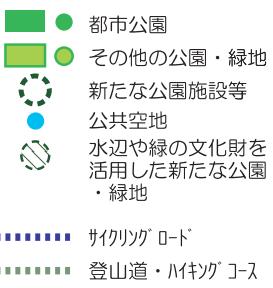
## 【水と緑の拠点・軸】



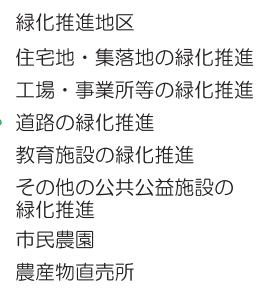
## 【環境・景観の保全と再生】



## 【公園・緑地の創造】



【都市緑化・育成計画】



## 5-4 芦川地域

### (1) 緑の特性と課題

●面積：3,715km<sup>2</sup> 人口：497人（平成22年4月現在）

#### 地域概要と緑の特性

- ・地域は、西は甲府市上九一色地区に、南は富士河口湖町に隣接する御坂山地の中央部に位置しています。黒岳に源流を発する芦川が地区中央を西方へ貫流し、山地と山間部の渓谷に沿う純山村集落地域で構成されています。
- ・戦国時代には集落が形成され、豊富な森林資源を利用した炭焼きや開墾による生業が営まれ、江戸時代から昭和初期にかけての養蚕の名残を残す兜造りの古民家や、若彦路の古道等の歴史・文化資源がみられます。
- ・御坂山地の山々に囲まれた冬季の寒気が厳しい地域であり、耕地も少なく高冷地野菜を中心とした農業が営まれています。地域は、年々人口・世帯数が減少し高齢化が進行するなど過疎化が懸念されています。
- ・芦川スポーツ広場、芦川テニスコートの広場・緑地が点在しています。
- ・主な緑の資源としては、自然保存地区である黒岳周辺のブナの原生林、やまなしの森林百選に指定される滝戸山山頂付近、本州随一を誇る自然記念物ニホンスズランの自生地、また、芦川グリーンロッジやキャンプ場、登山・ハイキングコース等のレクリエーション施設、新道峠、鍵掛峠等からの良好な眺望景観などがあります。
- ・御坂山地の森林に囲まれた自然環境と豊かな生態系、芦川地区の兜造りの古民家、美しい石垣の段々畑など、日本の原風景を思わせる山村集落地域の緑の景観が、象徴的な地域の緑の景観を形成しています。

#### ■緑に関わる主な地域住民意向

- ・大切にしたいのは、芦川地区の歴史・文化的な集落形態を残す風景、特色ある動植物の生息地、優れた眺望景観など
- ・今後の景観づくりでは、古道や街道筋のまちなみ、芦川地区の兜造り古民家などの文化的な集落景観の保全と活用が重要

#### 課題

- 黒岳周辺のブナの原生林、滝戸山山頂付近のミズナラ林などの御坂山地の豊かな森林環境や芦川源流域の水辺環境の維持・保全を図ることが必要です。
- 兜造りの古民家と石垣の段々畑など、故郷の原風景である山里の山村集落地域の維持・保全が必要です。
- すずらんの里の美しい自然環境や貴重な生態系、里山の緑を守り育していくことが必要です。
- 雄大な眺望景観やレクリエーション資源を活用し、ふれあいと交流を高める里づくりが望されます。
- 身近な広場の維持管理・利用促進を図るとともに、豊かな自然環境とふれあう特色ある緑の拠点を育てることが必要です。



・シラカバ林とニホンスズラン自生地



・兜造り古民家



・石垣の段々畑



・芦川源流と湧水



・新道峠からの眺望



・黒岳のブナの原生林

## (2) 芦川地域の緑のまちづくりに向けて

### 緑の将来目標

**豊かな自然と郷土の原風景を誇り、  
交流を育む緑のふるさとづくりを進めます**

### 主な取り組み方針

#### ①御坂山地の豊かな森林と芦川源流域の水辺環境、貴重な生態系の維持・保全を図ります

- 御坂山地の豊かな森林は、保安林として指定継続を図るとともに、マツクイムシ等の害虫対策や必要に応じた樹種転換など、適正な維持管理を推進します。また、地場産材の用途を増やす方策の検討や、新たな産業・地域おこしの活用策について検討します。
- 自然保存地区である黒岳周辺のブナの原生林、自然記念物である芦川源流域のニホンスズランの群生地、やまなしの森林百選である滝戸山山頂付近のミズナラ林の指定継続と維持・保全を図ります。また、地域の貴重な財産であるホタルやサンショウウオ、ヤマメなどが生息する生態系の維持・保全に努め、森や水辺と一緒に豊かな自然環境との共生を図ります。
- 芦川や沢、渓谷等の水辺は、雑排水対策等による水質向上、維持管理の推進、不法投棄対策など美しい水辺環境の維持・保全に努めます。また、水害等の防災面から、河道内樹木の伐採等を含めた適切な管理を推進し、水と緑にふれあえる親水空間づくりを進めます。

#### ②芦川地区のふるさとの原風景の維持・保全と里づくりへの活用を図ります

- ふるさとが誇る原風景、芦川地区の兜造りの古民家や石垣の段々畑の風景は、景観条例に基づく景観形成を図るとともに、文化的景観制度の活用を検討し維持・保全に努めます。
- ふるさとの原風景を維持するために、集落地の空き家の活用、農山村交流などグリーンツーリズムの推進、石垣を維持するための手法、景観や防災に配慮した地域の緑の見直しと再整理などを検討します。
- また、景観に配慮した環境整備、山里を巡るフットパスの検討、景観スポット・サイン整備、特色ある緑化や緑の住民活動を促進し、来訪者と地域の交流を育む豊かな緑の里づくりへの積極的な活用を進めます。

#### ③ふれあいと交流を高める緑のレクリエーション資源の活用を推進します

- 芦川源流域の親水空間や森林、スズラン群生地周辺、新道峠、鍵掛峠等の御坂山地の良好な眺望地点、芦川グリーンロッジやキャンプ場周辺は、森林療法、里山・森林体験や環境学習、エコツーリズムの促進など、豊かな自然環境に親しみ交流を育む場として、積極的な活用を推進します。

#### ④森林と渓谷に抱かれた山里の身近な緑と穏やかな風景を守り育てます

- 山村集落地の里山、雑木林、社寺林、屋敷林、水路等の身近な緑の維持・保全・整理に努め、森林や渓谷に抱かれた山里の穏やかな風景を守り育てます。
- 芦川支所周辺、集落地周辺を緑化推進地区に位置づけ、地域住民と協働により豊かな自然環境と調和した特色ある緑化を進めます。

#### ⑤身近な広場の利用促進と郷土の自然にふれあう緑の拠点づくりを進めます

- 芦川スポーツ広場等の既設の広場は、機能の充実と維持管理を促進し、協働による魅力の向上と有効利用を図ります。
- 自然レクリエーション拠点の機能充実を図るとともに、スズラン群生地周辺については、自然環境の保全と環境学習やレクリエーション活動の場としての整備を推進し、新たな緑の拠点づくりを進めます。

#### ⑥豊かな自然環境に親しみ交流を高める水と緑のネットワークを形成します

- 兜造りの特徴的な山村集落景観、良好な眺望景観、スズラン群生地、若彦路の旧街道、芦川農産物直売所、ハイキングルート・登山道等は、大切な緑の資源であるとともに地域活性化の資源でもあります。そのため、ふるさとの散策道などの散策路や緑地整備、サインや休憩スポットの充実、水辺空間や道路空間の緑化、アクセ性の向上をなど推進し、豊かな環境に親しみ、おもてなしと交流を高める水と緑のネットワークを形成します。

## ■芦川地域緑のプラン図

